

令和 7 年 2 月 28 日

教育長職務代理者答弁実録

（教育委員会）

（問） 広島県スポーツ会館について

広島県総合グラウンドを所有する県として、築 40 年以上が経過する広島県スポーツ会館の現状をどのように認識しているのか、教育長に伺う。

また、利用者が安心して快適に利用できるよう、広島県スポーツ会館の建替えを含めた老朽化対策について、今後どのように関わっていくのか、併せて教育長に伺う。

（答）

広島県スポーツ会館は、全ての県民の皆様が明るく豊かな生活を営み、とりわけ青少年の健全育成のために、スポーツ・レクレーション活動推進の拠点とすることを目的に、公益財団法人広島県教育事業団が、広島県総合グラウンドの敷地内に設置した屋内施設でございます。

広島県スポーツ会館には、体育室や多目的室、実技室、宿泊室などがございまして、バスケットボールやフットサル、バレーボール、体操などで、年間約 5 万人の方に利用されております。

また、宿泊室は、年間約 4 千 5 百人の方に利用されており、広島県総合グラウンドで運動するアマチュア選手や学生などの団体にも利用されております。

一方、課題といたしましては、

- ・ 広島県スポーツ会館の収支は赤字の状態が続いていること、
- ・ 昭和 54 年の開館から 45 年以上経過しており、建物・設備の老朽化が進んでいること、
- ・ 建物の耐震性がないこと

などがあると認識しております。

今後の施設の在り方につきましては、施設の設置目的や利用状況などを踏まえ、一義的には、設置者である広島県教育事業団が判断されるものと考えておりますが、県といたしましても、広島県教育事業団の経営やスポーツ振興の観点から、検討してまいります。